

令和3年度定期監査報告書

浜中町監査委員 串 田 明

浜中町監査委員 成 田 良 雄

1 監査の範囲

令和3年4月1日から令和3年9月30日までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理

2 監査の方法

上記「1 監査の範囲」について、関係法令等及び予算に基づき適切に執行されているかを主眼とし、経済性、効率性、有効性の観点にも留意しつつ関係書類による検査及び関係職員からの聞き取りにより実施した。

3 監査の期間

令和3年11月2日から令和3年11月26日まで（6日間）

4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、概ね適正に執行されているものと認める。

町長部局、各委員会部局、
議会事務局等各係の監査内容（報告）

1 総務課

総務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 総務係

庁舎の維持管理ほか、文書の収受及び発送、許可・認可・補助の指令 135 件（前年対比 58 件減）、条例・規則・訓令の公布 60 件（前年対比 15 件減）、告示 26 件（前年対比 10 件減）、自動車臨時運行許可（ナンバー交付）13 件（前年対比 1 件増）を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 701,298 千円に対し、調定額・収入済額ともに 162,750 千円で調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 799,743 千円に対し、支出済額 137,837 千円、執行率 17.2%である。繰越明許費は、歳出のみで繰越額・予算現額 169,378 千円に対し、支出済額 169,378 千円、執行率 100.0%である。事故繰越は歳出のみで繰越額・予算額 160,517 千円に対し、支出済額 0 千円、執行率 0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町村会負担金ほか 15 件 4,303 千円が支出済である。

(2) 職員係

職員の任免、賞罰、分限、服務、給与、福利厚生、健康管理、研修等の職員に関すること及び職員団体、職員住宅、その他職員に関することを分掌しており、健康管理としては、メンタルヘルスの不調を未然に防止することを目的としたストレスチェックを対象者 262 名（実受検者 246 名）に対して行ったほか、健康診断 137 名、人間ドック 113 名の受診に関する管理を行っている。職員研修では、町主催で J A L 客室乗務員によるマナーレッスン、人事評価制度研修会、新規採用職員研修を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 5,108 千円に対し、調定額 4,633 千円、収入済額 2,497 千円で、調定対比 53.9%である。歳出は、予算現額 1,281,854 千円に対し、支出済額 587,094 千円、執行率 45.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか 4 件 39,399 千円が支出済である。

(3) 交通安全係

交通安全対策、防犯活動及び関係団体に関すること、町有車両の維持管理（33 台）、巡回バス・福祉バスに関すること、生活交通路線確保に関することを主な業務としている。

交通安全指導員（27 名）の出動状況は、今年度は新型コロナウイルス感染予防対策によりイベントの開催が中止になり出動はなし。また、平成 31 年 4 月 28 日に発生した交通死亡事故以降、町内の交通死亡事故ゼロ日数は本監査実施日の直近であった 9 月末現在で 886 日となっている。

地域公共交通運行実績として、9 月末までの乗車人数 4,617 人、収入額 609 千円となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 2,364 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,071 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 83,853 千円に対し、支出済額 33,782 千円、執行率 40.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町交通安全協会運営費補助金ほか 2 件 272 千円が支出済である。

(4) 契約管財係

建設工事の契約、公有財産の取得・管理処分、備品の管理、不用品の処分、財産台帳及び財産調書、集会施設維持管理に関する業務、公営住宅の入居・維持管理、建設計画など財産関係の業務を主としており、詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 249,011 千円、調定額 58,608 千円、収入済額 27,279 千円、調定対比 46.5%となっており、歳出は、予算現額 627,555 千円に対し、支出済額 82,292 千円、執行率 13.1%である。

●町有財産の状況

○土地	総面積 40,002,713 m ² (うち山林面積 28,588,910 m ² 、立木推定量 308,285 m ³)
○建物	総面積 113,988.4 m ² (うち木造 18,588.4 m ² 、非木造 95,400 m ²)
○有価証券(株券)	1件 1,000 千円
○出資金・出捐金	21件 88,965 千円 (うち出資金 11件 66,973 千円、出捐金 10件 21,992 千円)

●土地建物貸付関係

○土地(有償分)			
・宅地	72件	23,193.73 m ²	1,798 千円
	(前年対比増減なし)	(前年対比 211.89 m ² 減)	(前年対比 125 千円減)
・干場	72件	88,582.90 m ²	1,227 千円
	(前年対比 1件増)	(前年対比 706.8 m ² 増)	(前年対比 156 千円減)
・その他	96件	151,830.06 m ²	3,241 千円
	(前年対比 5件増)	(前年対比 1,090.88 m ² 増)	(前年対比 105 千円減)
計	240件	263,606.69 m ²	6,266 千円
	(前年対比 6件増)	(前年対比 1,585.79 m ² 増)	(前年対比 386 千円減)
○土地(無償貸付分)			
	143件	220,258.51 m ²	
	(前年対比 18件増)	(前年対比 828.6 m ² 増)	
○牧野			
	5件	298,502.00 m ²	184 千円
	(増減なし)	(増減なし)	(増減なし)
○建物			
	42件	41棟	3,330 千円
	(前年対比 4件増)	(前年対比 4件増)	(前年対比 358 千円増)

●土地借用関係

33件	210,600.23 m ²	借地料 1,077 千円
(うち無償 18件 165,978.29 m ²)		(前年対比 227 千円減)

●財産の取得

○建 物

1 件	41.40 m ²	取得金額 34,045 千円
(前年対比 2 件減)	(前年対比 287.08 m ² 減)	(前年対比 378,115 千円減)

●財産の処分

○建物

1 件	2,152.42 m ²	解体
-----	-------------------------	----

○土 石

岩 石	18,081.0 m ³	処分量 3,978 千円
	(前年対比 3,081 m ³ 増)	(前年対比 678 千円増)

●公有物件共済加入状況

職員住宅ほか（共済責任額 9,544,109 千円）	分担金 2,933 千円
----------------------------	--------------

●町有施設保守管理委託状況

一般会計分として、消防用設備点検等（42 施設）4,048 千円、浄化槽保守点検（16 施設）1,047 千円、自家用電気工作物保安管理（17 施設）3,253 千円、暖房設備保守点検（15 施設）1,648 千円、地下タンク及び地下配管点検（12 施設）259 千円、排水再利用装置保守管理（4 施設）2,046 千円、昇降設備保守点検（3 施設）2,257 千円、煙道中の排ガス測定（4 施設）297 千円。これに浜中診療所特別会計分 4 件（消防用設備点検等、自家用電気工作物保安管理、暖房設備保守点検、地下タンク及び地下配管点検）474 千円を合わせた合計 117 施設 15,329 千円分の業務について委託契約を締結している。

●町営住宅管理状況

町営住宅は、団地数 13 団地、棟数 43 棟、保有戸数 217 戸。入居は 163 戸で 54 戸が空家となっており、このうち 13 戸は政策空家である。現在、霧多布 G 団地は長寿命化工事中である。町営住宅使用料の高額滞納に係る徴収等については、他の入居者との公平性を維持する視点からも政策的改善方法が必要である。多重債務者への対応は、町税等収納対策委員会や関係各課で情報共有を図り、今後も一層の債権回収に努められたい。また、引き続き町営住宅管理マニュアル（チェックマニュアル）等のルールに則った町営住宅の管理を期待するものである。

●公の集会施設利用状況

公の集会施設（26 施設）は、のべ 399 回 8,070 人に利用され、前年対比で利用回数 35 回、利用人数 1,208 人の増となっている。

●工事等契約執行状況

なお、9 月末現在の各種工事などの契約状況は次のとおりである。

工事区分	件 数	契約金額	対 比
土木工事関係	12 件（前年対比 2 件増）	212,157 千円	（前年対比 85,778 千円増）
建築工事関係	11 件（ " 6 件減）	656,926 千円	（ " 634,914 千円減）
委託事業関係	12 件（ " 7 件減）	75,218 千円	（ " 30,217 千円減）
合 計	35 件（前年対比 11 件減）	944,301 千円	（前年対比 579,353 千円減）

物品購入関係 7 件（前年対比 12 件減） 46,074 千円（前年対比 207,569 千円減）

（５）情報管理係

ＯＡ化の推進、電子計算機に係る総合調整及びデータ管理・保守、行政情報システムの調査、研究及び行政情報の利用の促進、情報公開、個人情報保護に関することを分掌している。

今年度、情報公開・個人情報保護審査委員 5 名を委嘱。管轄下のＯＡ機器の管理・更新等を担当し、申請書作成支援システムの導入を行ったほか、eラーニングによる職員を対象とした研修（受講者 31 名）の実施やＯＳのサポート期限到来に伴うサーバＯＳ更改及び端末更新も実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 760 千円に対し、調定額・収入済額ともに 4 千円、調定対比 100.0% である。歳出は、予算現額 73,751 千円に対し、支出済額 39,444 千円、執行率 53.5% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 3 件 30,417 千円が支出済である。

2 選挙管理委員会

事務局

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

今年度は、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に関する事務を執行しているが、告示が 10 月 19 日であるため、定期監査の期日である令和 3 年 9 月末現在の状況には反映されていない。

予算執行状況は、歳入予算現額 10,477 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0% である。歳出はで予算現額 13,227 千円に対し、支出済額 305 千円、執行率 2.3% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村選挙管理委員会連合会負担金 22 千円が支出済である。

3 防災対策室

防災係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

防災計画及び防災対策、緊急災害の統括、防災無線、水防計画、国民保護計画及び国民保護対策、消防に関すること、空家等対策に関すること、その他防災に関することを主な業務としている。

津波防災避難訓練については、新型コロナウイルス感染予防対策のため延期とし、今年度は 5 月に水門等閉鎖、情報伝達、災害対策本部運営の訓練を実施し、6 月には職員のみで水防訓練を行った。また、8 月には新しい津波浸水想定及び津波災害警戒区域指定に関する住民説明会を 9 地区で開催し 167 名が参加した。

空家等対策として、不良空家等除却補助の申請が 9 月末までに 10 件あり、うち 4 件は交付済であ

る。

監査実施日現在、本町においては地震や停電、台風による被害は発生していないが、各種災害に関する町民への情報提供や防災意識の高揚を図る対策は継続して求められるものである。

予算執行状況は、歳入予算現額 6,519 千円に対し、調定額 13,728 千円、収入済額 0 千円、調定対比 0%となっており、歳出は、予算現額 405,475 千円に対し、支出済額 177,551 千円、執行率 43.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路東部消防組合浜中消防署負担金ほか 4 件 171,257 千円が支出済である。

4 町 民 課

町民課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 町 民 係

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、犯罪人名簿、外国人住民、旅券事務に関することに加え、人口動態、電子署名に係る地方公共団体の認証業務、個人番号の指定・通知、個人番号カードの交付等に関する業務を遂行している。

令和 3 年 9 月末現在の住民基本台帳登録人口と世帯数では、人口 5,521 人（男 2,710 人・女 2,811 人）、世帯数 2,466 世帯となっており、前年対比で人口は 141 人減（男 73 人減、女 68 人減）、世帯数は 14 世帯の減となっている。

戸籍事務については、本庁で業務を一括して行い、各支所は証明書の交付のみを行っている。

各種証明の取り扱いは、全町で 4,472 件（うち無料分 780 件。全町前年対比 1,062 件減）、1,722 千円（前年対比 139 千円減）である。

予算執行状況は、歳入予算現額 6,479 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,954 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 9,274 千円に対し、支出済額 3,638 千円、執行率 39.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、戸籍事務共同運用負担金ほか 3 件 3,381 千円が支出済である。

(2) 保険年金係

国民健康保険、後期高齢者医療、重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費、子ども医療費、国民年金に関する業務を執行している。

医療費の一部を助成することにより保健の向上に資するとともに、福祉の増進を図ることを目的とした各種医療費給付事業の対象者数は、重度心身障がい者医療給付事業 86 名（障 36 名、障老 50 名。前年対比 11 名減）、ひとり親家庭等医療給付事業 156 名（前年対比 3 名増）、子ども医療給付事業 674 名（前年対比 57 名減）、浜中町精神障がい者医療費助成事業 16 名（前年対比増減なし）の合計 932 名（前年対比 65 名減）となっており、必要に応じ、随時助成を行っている。

国民年金については、年金給付、資格得喪、免除申請等の各種申請の進達、日本年金機構釧路年金事務所等からの調査依頼への回答や定期的に福祉年金、障害年金に係る所得調査等を行っている。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 50,976 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,338 千円、調定対比 100.0%であり、歳出は、予算現額 172,818 千円に対し、支出済額 59,199 千円、執行率 34.3%となっている。

国民健康保険に関しては、令和 3 年 9 月末現在で被保険者 1,062 世帯（前年対比 15 世帯減）2,370 人（前年対比 55 人減）が加入している。

国民健康保険制度の改正により、財政運営の責任は北海道が担い、保険証の発行や療養費等の申請、保険税の課税・徴収事務、保険事業は従来どおり浜中町が行うこととなった。保険給付に必要な費用は北海道が負担するが、その財源として市町村が北海道に対し、「国保事業費納付金」を納める方式となり、北海道は各市町村の医療費や所得等を基準に納付金の額を決定し、市町村はその納付金の額に応じた保険税を課税することとなっている。浜中町においては前年所得をもとに、前年度の繰越金の一部を減税財源に充てるなど税率改正を行っている。

国民健康保険特別会計の歳入歳出予算総額は 1,244,958 千円で、歳入予算の割合は、国民健康保険税 29.88%、道支出金 66.36%、その他収入で 3.76%となっており、歳出は、保険給付費 64.34%、国民健康保険事業費納付金 33.51%、保健事業費 1.29%、その他支出で 0.86%となっている。

予算執行状況は、歳入は、調定額 718,420 千円、収入済額 454,470 千円で調定対比 63.3%。歳出では、支出済額 504,926 千円で、執行率 40.6%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道国民健康保険団体連合会負担金 527 千円が支出済である。

後期高齢者医療制度は、75 歳以上と 65 歳から 74 歳で一定の障がいの状態のある者が対象であり、後期高齢者医療保険被保険者数は 830 名（うち 75 歳未満 25 名。全体数の前年対比 37 名減）である。

後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算総額は 79,030 千円で、歳入では、調定額 55,946 千円、収入済額 26,197 千円で調定対比 46.8%。歳出の支出済額は 26,421 千円で執行率 33.4%となっており、主な支出済額は、負担金、補助及び交付金の後期高齢者広域連合保険料負担金等で 26,054 千円となっている。

（3）生活環境係

公衆衛生、廃棄物の処理及び清掃、墓地及び斎場、畜犬取締り及び野犬掃とう、公害、衛生諸施設の管理運営、その他生活環境に関することを主な業務としている。

4 月～9 月末現在までの収入証紙売捌状況及び衛生センターの稼働状況、ごみ処理の状況に係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 42,111 千円に対し、調定額 17,568 千円、収入済額 16,824 千円、調定対比 95.8%となっており、歳出は、予算現額 225,258 千円に対し、支出済額 73,321 千円、執行率 32.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、資源物リサイクル活動奨励交付金ほか 3 件 2,839 千円が支出済である。

●収入証紙売捌・衛生センター稼働・ごみ処理の状況（4 月～9 月末）

○収入証紙売捌状況

96,435 枚、7,483 千円（前年対比 5,845 枚減、460 千円減）

○衛生センター稼働状況

し尿処理量 888.2kℓ (前年対比 18.7kℓ減)
浄化槽汚泥等処理量 452.6kℓ (前年対比 99.5kℓ減)

○ごみ処理状況

可燃・不燃等・直接搬入・収集ごみ 768.9 t (前年対比 84.13 t 増)
資源物 265.44 t (前年対比 7.28 t 減)

5 浜中支所

住民係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務で、主査1名が配置されており茶内支所住民係の主事2名が兼務発令され業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入調定額・収入済額ともに128千円で、調定対比100.0%である。歳出予算現額1,313千円に対し、支出済額461千円、執行率35.1%である。

○現金取扱状況	有料 (納付書数)	無料 (納付書数)	引継金額
税金	453 件		6,056 千円
証明手数料	329 件	24 件	136 千円
介護保険料	20 件		170 千円
後期高齢者医療保険料	22 件		477 千円
清掃手数料	10 件		69 千円
水道・住宅料ほか	398 件		2,762 千円
合計	1,232 件 (前年対比 118 件増)	24 件 (前年対比 4 件増)	9,670 千円 (前年対比 1,358 千円増)

6 茶内支所

住民係

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

戸籍・住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬許可、町税及び税外金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務であり、主事2名のほか浜中支所住民係の主査1名が兼務発令され業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額752千円に対し、調定額655千円、収入済額613千円で、調定対比93.6%となっており、歳出は、予算現額4,771千円に対し、支出済額1,459千円、執行率30.6%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税金	864 件		17,058 千円
証明手数料	978 件	104 件	424 千円
介護保険料	38 件		248 千円
後期高齢者医療保険料	33 件		449 千円
斎場使用料	4 件		60 千円
コミュニティセンター使用料	10 件		285 千円
清掃手数料	28 件		1,185 千円
水道・住宅料ほか	947 件		4,432 千円
合計	2,902 件	104 件	24,141 千円
	(前年対比 35 件減)	(前年対比 87 件減)	(前年対比 909 千円増)

7 企画財政課

企画財政課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 企画調整係

令和2年度から令和11年度までを計画期間とする「第6期浜中町まちづくり総合計画」は2年目となっている。実施計画については、基本構想・基本計画を踏まえ、毎年ローリングを実施することとしている。将来像達成のため、検討と評価を行いながら計画の管理を行うこととなっている。

また、「浜中町人口ビジョン」「浜中町創生総合戦略」についても令和2年度からの計画となることから、随時見直しを図るとともに目標達成のため計画の管理を行うこととなっている。

さらに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、町として取り組む事業を取りまとめ、実施計画の作成や国への交付申請事務を行っている。

辺地計画と過疎計画については、財政上の臨時措置を受けるべく、辺地指定と過疎指定を受け、除雪機械や農道の整備等に財源の有効活用を図るよう努めている。

令和3年度における町の重点施策実現のため、関係官庁等に対して北海道釧路総合振興局や釧路地方総合開発促進期成会を通じて要望活動を実施しているほか、高速道路や高規格道路の整備事業の早期実現に向け、釧路開発建設部、北海道横断自動車道釧路地区早期建設促進期成会、北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会等と連携を図り、要望活動に参加している。

地域の住民活動団体が、自ら行う地域活性化事業などに対して補助を行う「地域振興補助」事業は、9月末現在で7事業7,892千円の補助決定を行っている。

人づくり事業については、人づくり推進会議委員を14名委嘱のうえ1事業を採択しており、本事業を活用した浜中・沖縄少年少女体験交流事業を通じ、本町の自然や産業の良さを改めて認識する地域間交流事業への支援も行っている。また、移住・定住の推進のため、移住・定住推進員の地域おこし協力隊1名とリモートでの移住相談会に参加するなどコロナ禍での活動を行っている。お試し住宅は3月から9月末まで2組の利用があった。

コミュニティ活動の支援事業として、自治会連合会・単位自治会等と連携し、環境美化運動の推進

や花いっぱい運動、新生活運動の推進を継続して行っている。加えて「コミュニティ助成事業」の取りまとめを行い、地域活動の活性化を図っており、今年度は水取場町内会が本事業を活用し、会議テーブル、折りたたみ椅子、ホワイトボードなどを整備している。

地域・情報基盤等整備に関しては、光ファイバー整備が今年度中に全町的に完了を目指し事業に着手している。

今年度の各種統計調査は、5月に学校基本調査、6月に経済センサス基礎調査が実施されている。

予算執行状況は、歳入予算現額 39,274 千円に対し、調定額・収入済額ともに 30,815 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 33,304 千円に対し、支出済額 15,830 千円、執行率 47.5%である。また、繰越明許費は、歳入の繰越額 311,623 千円、調定額・収入済額ともに 323,140 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、繰越額 525,336 千円に対して、支出済額 0 千円、執行率 0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、地域振興事業補助ほか 10 件 10,576 千円が支出済である。

(2) 広 報 係

行政一般の周知、広報紙の発行、町ホームページ、町史編さん、広聴に関することなどを分掌しており、まちづくりの基本方針や計画、経過、結果等を広報し、行政としての説明責任を果たすとともに、町民との情報の共有化を図り、各種行事の周知や情報を広報紙やホームページによって広く町内外へ発信している。

広聴に関しては、ホームページを使った電子メールや町民との直接対話により、町民からの要望、意見、提言、情報の把握に努め、各課との調整による対応を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 10 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円で、調定対比 0.0%となっており、歳出は予算現額 4,511 千円に対し、支出済額 2,091 千円で、執行率 46.3%である。

(3) 財 政 係

予算の編成及び経理、支出命令、地方交付税、町債に関すること等を主な業務としている。

本年度の起債予算計上額は 20 件 1,515,866 千円であり、この内、臨時財政対策債 152,766 千円が含まれている。令和 2 年度との比較では、5 件減で予算計上額は 2,253,607 千円減となっている。

普通地方交付税は交付決定額 3,263,962 千円に対し、9 月末までに 3,162,812 千円を予算化し、101,150 千円が留保財源となっている。

なお、令和 3 年度に関しては、財政力指数 3 ヶ年平均 22.1%（単年度 21.6%）を見込んでいる。

8 福祉保健課

福祉保健課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 福 祉 係

災害救助、児童・ひとり親家庭・心身障がい者、生活保護、児童手当、高齢者福祉及び高齢者相談、在宅福祉サービス、放課後児童クラブ、地域生活支援事業ほか、主に社会福祉に関することを分掌しており、係長 1 名、主査 1 名、主事 2 名で業務を遂行している。

15歳到達後最初の年度末までが対象となる児童手当は、6月支給分児童数が延べ2,282名（前年対比97名減）、支払額23,905千円（前年対比565千円減）である。

生活保護の状況は、老人25世帯（28名）、母子3世帯（8名）、傷病12世帯（16名）、障害7世帯（8名）、その他6世帯（11名）で、合計53世帯（被保護人数71名）、前年対比4世帯増（被保護人数6名増）である。

放課後児童クラブでは、児童55名（霧多布27名、茶内28名。前年対比霧多布1名減、茶内5名減）に対して8名（前年対比1名減）の指導員を配置している。

9月末までの身体障害者手帳の交付状況は、新規交付7件、再交付1件、住所変更2件、返還8件であり、手帳保有者は260名（うち重度障がい者数109名）前年対比20名減となっている。

町単独の敬老週間事業では、例年8月末日現在で対象者を選定し、満88歳の方27名（男8名、女19名）に3万円、満99歳の方5名（女5名）に5万円の敬老祝い金を9月末日までの間に贈呈している。

日常生活用具貸付事業では、日常生活用具（ベッド18台、マット18枚、車椅子9台、エアーマット1枚）の貸付、緊急通報装置の設置（貸付）27台を行っており、高齢者バス利用助成事業では100円券50枚綴りの冊子の共通券とし、ハイヤーを選択肢に加えており、申請のあった670名に対して交付し、8,631枚（バス1,280枚、JR1,499枚、ゆうゆ1,740枚、ハイヤー2,499枚、町営バス1,613枚）の利用があった。

なお、9月末までに発生した火災1件に対する災害見舞金として650千円を支出している。

また、自立支援ホームヘルプサービス事業（登録者18名）、外出支援サービス事業（登録者77名）については、浜中町社会福祉協議会に委託のうえ、登録者へ各サービスの提供を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額229,846千円に対し、調定額101,044千円、収入済額99,684千円、調定対比98.7%となっており、歳出は、予算現額459,411千円に対し、支出済額239,727千円、執行率52.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、デイサービス事業運営費補助ほか18件83,765千円が支出済である。

（2）健康推進係

町民の健康増進、母子保健及び成人保健、歯科指導及び栄養指導、妊娠届の受理及び母子手帳の交付、感染症その他疾病の予防に関する事、診療所に関する事を分掌している。

成人対策では特定健康診査や各種がん健診などを実施しており、子宮がん検診、乳がん検診については該当者にクーポン券を交付し、受診勧奨を行っている。

母子対策では乳幼児の各種健診や相談事業に加え、産前産後サポート専門相談及び産前産後ケアを助産院マタニティアイに委託のうえ実施し、専門相談利用実績58件（前年対比26件増）、産前ケア利用が5名（前年対比増減なし）、産後ケアはデイケア型を延べ39回、宿泊型を延べ8回、訪問型を延べ1回、9名（前年対比デイケア型は29回増。宿泊型は7回減。利用人数2名増。）が利用しており、実績の伸びがみられている。

その他感染症対策として予防接種事業の実施やエキノコックス症対策、広域救急医療対策としてティーベック株式会社委託の24時間電話相談可能な「浜中町健康・医療相談ダイヤル24」事業、栄養対策、歯科対策など、広く町民の健康維持・増進などに関わる保健事業等を実施している。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額7,770千円に対し、調定額・収入済額ともに1,118千

円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 84,343 千円に対し、支出済額 43,482 千円、執行率 51.6%である。繰越明許費の歳入は、繰越額 52,370 千円に対し、調定額・収入済額ともに 9,070 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は繰越額・予算現額 52,370 千円に対し、支出済額 21,429 千円、執行率 40.9%である。

また、国民健康保険特別会計のうち健康推進係に関する予算執行状況は、歳入予算現額 3,057 千円に対し、調定額・収入済額ともに 300 千円で調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 8,981 千円に対し、支出済額 2,740 千円、執行率 30.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、厚岸郡広域救急医療体制負担金ほか 6 件 19,695 千円が支出済である。

(3) 介護保険係

介護保険に関すること、ケアマネジメントセンターに関することを分掌している。

介護保険の申請状況は、新規・更新を合わせ第 1 号被保険者が 109 名、第 2 号被保険者（40 歳～64 歳）が 3 名の合計 112 名（前年対比 17 名増）である。

介護度別人数は、要支援 1（16 名）、要支援 2（20 名）、要介護 1（61 名）、要介護 2（41 名）、要介護 3（45 名）、要介護 4（41 名）、要介護 5（32 名）の合計 256 名となっており、そのうち施設入所または居宅サービスの利用人数は 201 名（前年対比 9 名減）である。

9 月末現在の介護保険料の収入状況は、調定額 102,861 千円に対し、収入済額 50,144 千円で、収納率は 48.8%となっており、前年対比 0.8%の減である。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 7,421 千円に対し、調定額・収入済額ともに 2,541 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 72,766 千円に対し、支出済額 264 千円、執行率 0.4%である。

介護保険特別会計の歳入歳出予算総額は 473,099 千円で、歳入予算現額 473,091 千円に対し、調定額 266,649 千円、収入済額 213,442 千円で調定対比 80.0%。歳出は、予算現額 439,724 千円に対し、支出済額 171,962 千円で執行率 39.1%となっている。（歳入歳出の予算現額は、地域包括支援係への配当分を除いた額で記載。）

補助金、負担金及び交付金の状況は、国民健康保険保険者ネットワーク負担金 56 千円が支出済である。

(4) 地域包括支援係

地域包括支援事業に関すること、介護予防・日常生活総合事業に関する業務を分掌している。

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防訪問介護をしゃきょう介護センターえぞふうろ、介護予防通所介護をデイサービスセンターハイツ野いちごに委託のうえ実施しており、要支援者配食サービスは地域生活支援センター・ハート釧路及び町社会福祉協議会と委託契約を結び、9 月末までに要支援に認定されている 5 名（延べ 21 名）に対し 140 回の配食を実施している。介護認定を受けていない高齢者等については「包括的支援事業」により配食サービスを 7 名（延べ 35 名）に対し 419 回実施している。加えて、介護予防事業として健康教室やハツラツ倶楽部わっはっは、ほのぼのくらぶなどを実施しているほか、脳トレのプリントを配布するのうち DE 脳トレを 60 名（延べ 306 名）に対して実施している。

また、地域包括支援センター事業として、福祉保健課及び関係機関（社会福祉協議会、診療所、野

いちご、訪問看護ステーションなど)の担当者によるケア会議を隔週で開催しているほか、総合相談として、延べ380件(電話157件、来所49件、訪問176件)の介護保険に関することや自立支援サービスに関すること、医療との連携や状況・安否確認、福祉用具の購入や備品の貸出しに関する本人や家族、関係機関や民生委員等からの相談に対応している。

介護保険特別会計のうち包括支援係に関する予算執行状況は、歳入予算現額8千円に対し、調定額・収入済額ともに3千円で調定対比86.4%。歳出は、予算現額33,375千円に対し、支出済額19,547千円、執行率58.6%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道在宅介護支援センター負担金30千円が支出済である。

9 町立浜中診療所

総務係・医事係

町立浜中診療所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

浜中診療所特別会計における歳入歳出予算総額は280,042千円で、歳入予算の構成割合は、診療収入33.1%、使用料及び手数料7.2%、繰入金53.3%、諸収入0.3%、町債5.3%である。診療収入は前年対比3.2%減になっており、依然として一般会計からの繰入金等(繰入金と町債で歳入全体の58.6%を占めている。前年対比0.6%減。)が多く、経営上厳しい状況であることに変わりはない。

歳出の予算構成割合では、総務費86.8%(総務費の構成割合は、浜中診療所維持管理に要する経費7.0%、浜中診療所運営に要する経費93.0%)、医業費9.4%(医業費の構成割合は、医業に要する経費82.0%、入院患者等寝具に要する経費4.0%、入院患者等給食に要する経費14.0%)、公債費3.7%となっており、歳出予算のうち大きな割合を占めるのは、報酬、給料、職員手当等、共済費、医師報償費で72.6%となっている。

経営状況は、9月末現在の医業収益で前年対比患者数5,102名、金額で9,510千円の増が認められる。増加の主な要因は、新型コロナワクチン接種に係るものである。

予算執行状況は、歳入では、調定額50,167千円に対し、収入済額49,977千円、調定対比99.6%となっており、歳出は、支出済額118,555千円で、執行率42.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路市医師会費ほか2件198千円が支出済である。

10 税 務 課

課 税 係・収 納 係

税務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

本年度の町税収納率は、9月末現在で普通税の調定額804,500千円に対し、収入済額488,317千円で60.7%、国保税は調定額393,904千円に対し、収入済額132,559千円で33.7%の収納率となっており、前年対比では、普通税収納率0.8%、国保税収納率1.1%減となっている。

なお、町民の利便性向上及び収納強化のため、町道民税・軽自動車税・固定資産税・国保税、各種

税外金はコンビニ・郵便局で納付可能な体制を整備、実施しており、収納対策として有用な効果を発揮するよう今後も町民への周知を行うとともに、納付意識の向上に期待するものである。

また、町税等の納付に対する町民の公平性と信頼を確保するため、町独自の収納が困難な滞納事案を抽出のうえ「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に引継ぎ、滞納の解消に努めており、各種税外金についても所管している部署との連携を図り、税外等収納対策委員会の開催や随時指導を行いながら収納業務に尽力している。

課税係の予算執行状況は、歳入予算現額 782,003 千円に対し、調定額 784,348 千円、収入済額 484,648 千円、調定対比 61.8%となっており、歳出は予算現額 4,426 千円に対し、支出済額 3,080 千円で、執行率 69.6%である。補助金、負担金及び交付金の状況は、軽自動車税環境性能割徴収取扱費負担金ほか 2 件 159 千円が支出済である。

収納係の予算執行状況は、歳入予算現額 8,936 千円に対し、調定額 24,718 千円、収入済額 8,235 千円、調定対比 33.3%となっており、歳出は予算現額 7,439 千円に対し、支出済額 2,104 千円で、執行率 28.3%である。補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路・根室広域地方税滞納整理機構負担金 489 千円が支出済である。

11 出 納 室

出 納 係

現金の収入保管、支払及びその記録等については例月出納検査により立証されているため、その他の事務について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 1,766 千円、支出済額 819 千円で、執行率は 46.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、指定金融機関である大地みらい信用金庫に対し、派出窓口業務負担金 540 千円が支出済である。

12 建 設 課

建設課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 土 木 係

道路橋梁の維持管理、河川に関する事、都市計画や地籍に関する事など、主に土木に関する事と全般にわたる業務を行っている。

道路及び河川の占用許可数は、道路 76 件（前年対比 16 件増）、河川 23 件（前年対比 5 件減。許可した 23 件の内訳は土地 13 件、工作物 9 件、水利 1 件）となっている。

工事執行状況は、土木工事など 4 件（前年対比 2 件減）で請負金額 67,980 千円（前年対比 616 千円減）、調査設計等委託業務 5 件（前年対比 5 件減）で請負金額 71,775 千円（前年対比 14,844 千円増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 53,275 千円に対し、調定額 1,996 千円に対し、収入済額 1,993 千

円、調定対比 99.8%となっており、歳出は、予算現額 249,592 千円に対し、支出済額 32,890 千円、執行率 13.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道土木積算システム連絡協議会負担金ほか 1 件 302 千円が支出済である。

(2) 建築係

建築基準法、建築指導、建設リサイクル、建築物の設計及び施工管理などのほか、屋外広告物や融資住宅に関する事務を担当している。

本年度は、建築確認申請 1 件（前年対比 1 件減）、建設リサイクル法に係る通知 34 件（前年対比 4 件減）を 9 月末までに受理・受付している。

工事等の執行状況は、工事 9 件（前年対比 8 件減）で請負金額 565,356 千円（前年対比 709,214 千円減）、調査設計等委託業務 3 件（前年対比 2 件増）で請負金額 11,748 千円（前年対比 11,572 千円減）となっている。

安心住まいの促進事業は、9 月末現在 18 件（前年対比 8 件増）の申請があり、この事業に伴う金券発行額は 2,945 千円（前年対比 825 千円増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 519 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%となっており、歳出は、予算現額 4,989 千円に対し、支出済額 2,963 千円、執行率 59.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、既存住宅耐震改修費補助金（予算現額 600 千円）を予算化しているが、9 月末現在申込者はない状況であるため、予算執行されていない。

(3) 下水道係

主に下水道及び集落排水事業に関する業務を執行している。

本年度の工事等の執行状況は、公共下水道工事 4 件（前年対比 1 件増）で請負金額 117,139 千円（前年対比 82,203 千円増）、農業集落排水工事 2 件（前年対比 2 件増）で請負金額 2,220 千円（前年対比 2,220 千円増）、漁業集落排水工事 1 件（前年対比増減なし）で請負金額 638 千円（前年対比 77 千円減）、調査設計等委託業務 2 件（前年対比 3 件減）で請負金額 22,550 千円（前年対比 418 千円減）となっている。

受益者分担金収納状況について、調定額 799 千円、収納額 486 千円、収納率 60.8%（前年対比 12.5%増）。下水道使用料について、調定額 32,703 千円、収納額 29,526 千円、収納率 90.3%（前年対比 1.2%減）。

下水道事業特別会計の歳入歳出予算総額は 490,497 千円で、歳入は、調定額 38,282 千円、収入済額 34,792 千円、調定対比 90.9%。歳出は、支出済額 150,466 千円、執行率 30.7%となっている。

なお、歳出において、一般会計から下水道事業特別会計への繰出金として 263,859 千円が予算化されているが、9 月末現在での繰出しは行われていない。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道土木積算システム連絡協議会ほか 8 件 925 千円が支出済である。

13 商工観光課

商工観光課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 観光係

観光の振興、自然公園の保全と利用、湿原センターの管理運営委託、霧多布湿原学術研究支援制度に関することを主な業務としている。

観光客誘致宣伝として、観光広告の掲載ほか、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、釧路町・厚岸町・浜中町で形成される三町広域観光推進協議会、釧路町村会地域づくり広域プロジェクト事業へ参加・協力しており、各種観光パンフレットや資料などの配布を行っている。

地域活性化を目指すルパン三世関連事業の展開では、プロジェクト会議、コレクションの展示、ラッピングバス運行事業、ホームページの更新等を実施している。またコレクションの展示場所を総合文化センターに移転し通年開館を行っていて、9月末での来場者3,941人である。

今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためうまいもん市、岬まつりは中止となった。

キャンプ場の利用状況では、有料であるバンガロー利用が504人、279棟（前年対比173人減、80棟減）、となっており、無料のテント利用は634張811人（前年対比255張減、153人減）である。

なお、本年度は霧多布湿原学術研究支援制度による助成支援は事業が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっている。

霧多布湿原センター管理運営委託に関しては、特定非営利活動法人「霧多布湿原ナショナルトラスト」に令和2年4月から令和7年3月まで指定管理委託が決定している。令和3年度開館日数109日、入館数5,195人（前年対比489人減）である。

予算執行状況は、歳入予算現額769千円に対し、調定額・収入済額ともに497千円で、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額117,082千円に対し、支出済額100,033千円、執行率85.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、霧多布湿原センター管理運営負担金ほか13件51,162千円が支出済である。

(2) 商工労働係

商工業の振興、商工団体、地場産品等の振興、中小企業、企業誘致、消費生活、計量器、労働事業の調査及び相談教育、労働者の福祉・共済に関することなどを分掌している。

商工業者の振興に資する商工機器等購入資金貸付事業では、1件2,000千円（前年対比件数増減なし、245千円増）の貸付を行った。本年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためさっぽろオータムフェスト、サマーフェスタ、浜中秋ど真ん中祭りが中止となった。

新型コロナウイルス感染症対策補助では、17件6,042千円（飲食店12件、宿泊業3件、重複2件）を行っている。

地域経済活性化促進事業補助として、電子地域通貨システムルパン三世 Pay 導入によるキャッシュレス運用に係わるポイント還元への助成を行っている。

労働業務としては、労働者の福祉・共済に向けた出稼手帳の交付（新規1件、証明2件）、技能尊重運動及び事業内職業訓練等に関する業務を実施している。

また、商工業者の担い手確保に向けて平成 29 年度から開始している商工業後継者就業交付金事業による支援対象者は、9 月末現在申請がない状況である。

予算執行状況は、歳入予算現額 48,452 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%。歳出は、予算現額 92,926 千円に対し、支出済額 72,438 千円、執行率 78.0%である。繰越明許費は歳出のみで繰越額・予算現額 15,000 千円に対して、支出済額 15,000 千円、執行率 100%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町商工会補助ほか 10 件 45,368 千円（新型コロナウイルス関連補助も含む）が支出済である。

（3）ふれあい交流・保養センター係

主にセンターの管理運営、利用拡大に関することを分掌しており、前年度同様、商工観光課長の係長事務取扱のもと主事 1 人が事務を執行している。

町民の保養と健康づくりを通じて交流を図るとともに、災害時における避難施設としての活用を図ることを目的とした施設であり、令和 3 年度は 9 月末現在で入浴者 21,629 人（前年対比 4,640 人減）、営業日数 114 日、1 日平均 189.7 人が利用している。

なお、ふれあい交流・保養センターの管理運営等に関しては、霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクト（代表 株式会社クロエ）に平成 30 年 10 月から令和 5 年 3 月まで指定管理委託が決定している。

予算執行状況は、歳出予算現額 55,691 千円に対し、支出済額 33,135 千円、執行率 59.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、ふれあい交流・保養センター管理運営負担金ほか 2 件 21,239 千円が支出済である。

（4）中山間活性化施設係

施設の管理運営、利用拡大に関することを分掌しており、会計年度任用職員 4 人が常勤し、係長は商工労働係長が兼務している。

中山間活性化施設（M o - T T o かぜて）は、農・漁業の生産物に付加価値を付けるための研究や開発を目的とした施設であり、町内の多くの女性団体や個人、学校等が利用している。9 月末現在の利用者並びに来館者は延べ 1,255 人（前年対比 7 人減）となっており、施設内の利用のほか敷地内の多目的広場やキャンプ場の活用を通じ、地域と都市の交流を図っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 583 千円に対し、調定額 310 千円、収入済額 304 千円で、調定対比 98.1%となっており、歳出は、予算現額 13,157 千円に対し、支出済額 5,495 千円、執行率 41.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路地方食品衛生協会負担金ほか 1 件 11 千円が支出済である。

14 水 道 課

水道課は、水道事業会計については出納室同様、支払及びその記録等が例月出納検査により立証されているため、一般会計部分で水道係所管の関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

水道係

予算執行状況は、歳入予算現額 86,589 千円に対し、調定額 42,944 千円、収入済額 42,337 千円、調定対比 98.6%となっており、歳出は、予算現額 75,944 千円に対し、支出済額 25,456 千円、執行率 33.5%である。

○使用料納入状況	調定額	収入済額	収入率
農業用水	39,939 千円	39,838 千円	99.7%

15 議会事務局

議事係・庶務係

議会事務局各係について、提出資料に基づき説明を求め、関係書類の整理及び事務執行について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 59,394 千円に対し、支出済額 28,643 千円、執行率 48.2%となっており、主な支出は、議会議員に要する経費の報酬及び手当 20,456 千円、共済費 6,698 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内町村議会議長会負担金 366 千円が支出済である。

16 監査委員事務局

監査係

関係書類の整理及び事務執行、提出資料について監査した。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 2,249 千円に対し、支出済額 890 千円、執行率は 39.5%となっており、主な支出は監査委員報酬の 843 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、鉦路町村等監査委員協議会負担金 11 千円が支出済である。

17 水産課

水産課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 港湾係

港湾に関すること全般、国土交通省港湾局所管に係る海岸保全に関することを業務としている。

港湾施設の利用状況は、港湾施設用地使用料 10 件 627 千円（前年対比件数増減なし、58 千円減）、物揚場・岸壁使用料 196 件 144 千円（前年対比 112 件増、44 千円増）、漁船捲揚施設使用料 33 件 1,819 千円（前年対比 12 件減、401 千円減）、船揚場使用料 38 件 79 千円となっており、合計は 277

合 計	7	15,110	2	3,290	-	-	9	18,400
前年対比	5	12,290	△3	△19,670	-	-	2	△7,380

(3) 水産振興係

水産業に係る環境保全、栽培漁業、沿岸漁場の整備開発、水産業に係る試験研究の調整、漁業技術の改良普及、水産資源の管理に関することを業務としている。

本年度は、平成29年度より整備している新川船揚場整備事業で右側上部コンクリートL=18.89m、擦り付け部コンクリートL=18.0m、鋼矢板打設L=19.8mの工事を予定しているほか、琵琶瀬瀬戸及び新川航路の航路掘削工事を実施している。

栽培漁業については、関係機関との連携協働のもと推進を図り、ウニ種苗生産センターが供用開始となり、施設の運営は浜中町ウニ種苗センター運営委員会に委託している。

また、浜中・散布漁協が実施するマツカワ種苗購入事業に対して水産振興基金を財源に補助を行い、近年大雨被害を受けやすい散布養殖施設については、町水産振興連絡協議会・養殖部会・散布漁協で塩分計を購入し、降雨による火散布沼への塩分濃度の影響について調査を行い、大阪府立大学等と共同で今後の対策を検討することとしている。令和4年3月には水産物付加価値向上を目的に、ブランド化や販売促進活動への支援として札幌市（ポールスター札幌）での物産展を開催予定である。

予算執行状況は、歳入予算現額4,892千円に対し、調定額・収入済額ともに292千円で、調定対比100.0%。歳出は、予算現額86,467千円に対し、支出済額9,985千円、執行率11.5%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、産業振興奨励補助ほか5件1,584千円が支出済である。

18 保 育 所

保育業務係

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、事務の執行について監査した。

常設の霧多布保育所（定員140名）及び茶内保育所（定員80名）は、定員220名に対して135名（前年対比1名増）の幼児が入所している。霧多布保育所は61名（5歳児18名、4歳児10名、3歳児17名、2歳児5名、1歳児11名）の幼児に対し、保育士13名（前年対比2名増）のうち4名は保育助手、管理栄養士1名、調理員2名の体制であり、茶内保育所は74名（5歳児16名、4歳児17名、3歳児13名、2歳児12名、1歳児13名、0歳児3名）の幼児に対し、保育士15名（前年対比2名増）のうち3名は保育助手、調理員3名で対応している。

このほか、子育て支援センターでは4月1日から9月30日までの期間で延べ978名の利用に対して保育士2名が対応しており、一時預かり保育では4月1日～9月30日までの期間で延べ120名に対し保育士1名が対応し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めている。

なお、両保育所とも避難訓練を毎月1回ずつ実施しているほか、年次計画に基づく各行事については新型コロナウイルス感染防止に考慮した行事に努めている。

へき地保育所の運営については、散布・浜中・姉別の3ヵ所を開設し、幼児数43名（前年対比2

名増) に対して保育士 6 名 (前年対比 1 名減) で保育にあたっている。今年度より茶内保育所で調理された給食を各へき地保育所に配送し給食提供を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 43,141 千円に対し、調定額 9,500 千円、収入済額 5,472 千円、調定対比 57.6% となっており、歳出は、予算現額 145,864 千円に対し、支出済額 49,927 千円、執行率 34.2% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道社会福祉協議会会費 (保育協議会) 2 件 54 千円が支出済である。

19 農業委員会

農政係・農地係

農業委員会各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

予算執行状況は、歳入予算現額 9,835 千円に対し、調定額 1,139 千円、収入済額 1,136 千円、調定対比 99.8% となっており、歳出は予算現額 11,969 千円に対し、支出済額 5,164 千円、執行率 43.1% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道農業会議拠出負担金ほか 1 件 232 千円が支出済である。

●農地法許可関係

農地法第 3 条	(売買)	9 件	1,676,530 m ²	(前年 :	0 件	0 m ²)
〃	(贈与)	0 件	0 m ²	(前年 :	1 件	736,401.86 m ²)
〃	(賃貸借)	8 件	2,404,694 m ²	(前年 :	2 件	160,475 m ²)
〃	(使用貸借)	5 件	2,863,816 m ²	(前年 :	1 件	884,019 m ²)
農地法第 4 条	(農地転用)	4 件	26,838.50 m ²	(前年 :	6 件	33,955 m ²)
農地法第 5 条	(農地転用)	0 件	0 m ²	(前年 :	0 件	0 m ²)

●農地保有合理化事業 (買入)	0 件	0 m ²	(前年 :	1 件	539,257 m ²)
(売渡)	0 件	0 m ²	(前年 :	3 件	898,171.72 m ²)

●農地中間管理事業	0 件	0 m ²	(前年 :	0 件	0 m ²)
-----------	-----	------------------	-------	-----	--------------------

●農業経営基盤強化促進事業

担い手農地利用調整事業 (賃貸借)	1 件	627,340 m ²	(前年 :	8 件	3,027,565.24 m ²)
〃 (所有権移転)	7 件	1,603,153.68 m ²	(前年 :	2 件	915,934 m ²)
〃 (利用権移転)	1 件	132,035.85 m ²	(前年 :		なし)
利用権設定等促進事業 (賃貸借)	6 件	631,234 m ²	(前年 :	14 件	2,224,357.76 m ²)

〃 (所有権移転) 5件 899,484 m² (前年: 4件 289,367 m²)
 〃 (利用権移転) 0件 0 m² (前年: 1件 13,626 m²)

●利用集積計画公告件数

公告内容	件数	面積
所有権移転	12件	2,502,637.68 m ²
賃貸借設定	7件	1,258,574 m ²
利用権移転	1件	132,035.85 m ²

●土地の現況証明願件数

33筆 154,930 m²
 (内訳: 地目変更 31筆、地目確認 2筆)

●農業者年金申請等の状況 (受給者数 154名)

裁定請求 (新制度) 2件 (内訳: 老齢年金 2件、特例付加年金 0件)
 〃 (旧制度) 0件 (内訳: 老齢年金 0件、経営移譲年金 0件)
 未支給年金請求 1件
 新規加入 0件
 資格喪失 1件
 任意脱退 1件
 その他届出 24件

●農地所有適確法人数

19法人 (前年対比 2件増)

20 農 林 課

農林課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
 各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 農 政 係

農村生産団体、農業担い手、産業振興資金 (家畜購入)、農業制度資金、家畜伝染病予防に関する
 ことなどを主な業務としている。

家畜購入資金貸付事業は、予算現額 6,000 千円に対して 1件 3,000 千円の申請があり、新規貸付
 を行っており、本件に係る償還は令和 5 年度から令和 8 年度までの 4 ヶ年となっている。また、9 月

末現在におけるこれまでの貸付金の償還状況は、調定額 4,750 千円に対し、償還済額 1,750 千円、償還率 36.8%となっている。

なお、農業の担い手確保に向けた農業後継者就業交付金事業による支援対象者は、前年対比 2 人減の 5 人分を予算化している。

予算執行状況は、歳入予算現額 14,376 千円に対し、調定額 4,950 千円、収入済額 1,950 千円、調定対比 39.4%となっており、歳出は、予算現額 65,638 千円に対し、支出済額 13,950 千円、執行率 21.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、（有）浜中町就農者研修牧場負担金ほか 7 件 10,525 千円が支出済である。

（2）農業振興係

農業の振興、農業基盤整備、農業農村整備に関することを分掌としており、農業の振興として中山間地域等直接支払交付金事業などに係る事務を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 209,365 千円に対し、調定額・収入済額ともに 7,493 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 275,425 千円に対し、支出済額 11,769 千円、執行率 4.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は農地・水保全多面的機能支払交付金ほか 2 件 11,183 千円が支出済である。

（3）林務係

主に、町有林、民有林の経営指導、治山事業、鳥獣保護、自然保護、有害鳥獣の駆除に関することなどの事務を執行している。

町有林整備事業では、人工造林、下刈等について、予算額 29,464 千円のところ、9 月末日までに各事業合計 28,195 千円で契約のうえ実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 68,629 千円に対し、調定額・収入済額 14,058 千円で、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 98,951 千円に対し、支出済額 37,621 千円、執行率 38.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町鳥獣被害防止対策協議会負担金ほか 7 件 1,874 千円が支出済である。

21 教育委員会

教育委員会各課・係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

（1）管理課

① 総務係

総務係は、主に教育委員会の会議に関すること、事務局及びその他教育機関の職員の任免ほか人

事、学校の設置・廃止、奨学資金、学校施設及び教職員住宅の管理、学校施設の使用許可などについて分掌し、業務を遂行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 8,606 千円に対し、調定額 6,120 千円、収入済額 2,828 千円、調定対比 46.2%となっており、歳出は、予算現額 169,503 千円に対し、支出済額 51,511 千円、執行率 30.4%である。繰越明許費は歳出のみで繰越額・予算現額は 4,910 千円、支出済額 2,879 千円、執行率 58.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内町村教育委員会連絡協議会負担金ほか 2 件 531 千円が支出済である。

●奨学金給付状況

大学生・短大生	4 人 (前年対比 増減なし)	月額	11,000 円 (前年同額)
専門学校生	0 人 (前年対比 3 人減)	月額	11,000 円 (")
高校生	15 人 (前年対比 3 人減)	月額	5,500 円 (")
合計	19 人	年額	1,518 千円 (前年対比 6 人、594 千円減)

●教員住宅使用状況 小・中学校合計 71 戸 (うち老朽戸数 22 戸) 調定額 5,433 千円

② 学校教育係・指導室

学校教育係は教職員の人事、児童生徒の就学及び転出入、教職員・児童生徒の保健衛生福利及び厚生、通学区域、スクールバスの運行・管理及び委託、就学援助に関する事務を執行している。

指導室は、学校教育に関する専門的事項の指導事務及び教職員の研修についての業務を執行している。

なお、9 月末日現在の児童生徒数は下表のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,794 千円に対し、調定額・収入済額ともに 5 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 119,814 千円に対し、支出済額 55,553 千円、執行率 46.4%である。繰越明許費の歳入は、繰越額 3,200 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0%となっており、歳出は繰越額・予算現額 1,660 千円、支出済額 1,397 千円、執行率 84.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町教育研究所負担金ほか 11 件 5,142 千円が支出済である。

●町内各学校の状況

学校名		児童数	生徒数	学級数	教員数	備考
小学校	霧多布	73 名		9	15 名	
	浜 中	40 名		5	11 名	
	茶 内	100 名		9	14 名	
小 中 併置校	散 布	23 名	16 名	8	16 名	
中学校	霧多布		49 名	6	14 名	
	浜 中		12 名	2	8 名	

	茶 内		44 名	5	13 名	
合 計		236 名	121 名	44	91 名	

●要保護及び準要保護児童生徒の状況

小学校 要保護 2 名、準要保護 37 名（前年対比 要保護 1 名減、準要保護 6 名減）

中学校 要保護 2 名、準要保護 25 名（前年対比 要保護 1 名増、準要保護 7 名減）

合 計 要保護 4 名、準要保護 62 名（前年対比 要保護増減なし、準要保護 13 名減）

（2）生涯学習課・総合文化センター

① 社会教育係・総合文化センター係

社会教育係は、主に生涯学習の推進や社会教育に関することを分掌し、芸術文化の振興、文化財の保存・活用に関すること、青少年教育や成人教育（女性、高齢者、家庭教育を含む。）に関する事務を執行しており、総合文化センター係は、芸術・文化活動の練習、発表の場及びレクリエーション等の利用、図書の貸出し等の事業、郷土資料等の活用及び保存に関する業務を執行している。係長 1 名、学芸員の主査 1 名、主事 1 名が 2 つの係を兼務している。（総合文化センター係については、図書館司書の有資格者 1 名を会計年度任用職員として雇用している。）

総合文化センター利用状況はコロナウイルスワクチン接種会場として多目的大ホールを使用し、また 4 月からモンキーパンチコレクション、8 月には宮川博元記念ギャラリーが開設され作品の展示を行っている。

社会教育係の予算執行状況は、歳入予算現額 1 千円に対し、調定額・収入済額 0 千円、調定対比 0%。歳出は、予算現額 10,525 千円に対し、支出済額 1,803 千円、執行率 17.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町文化協会補助ほか 9 件 1,283 千円が支出済である。

総合文化センター係の予算執行状況は、歳入予算現額 289 千円に対し、調定額・収入済額 154 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 34,263 千円、支出額 17,700 千円、執行率 51.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道公民館協会負担金ほか 2 件 54 千円が支出済である。

●総合文化センター利用状況

開館日数 121 日、利用件数 230 件、利用者数 16,954 人（前年対比 41 件減、10,266 人増）

●総合文化センター図書貸出

利用者数 660 人（夜間 86 人） 前年対比 79 人減（夜間 39 人増）

貸出冊数 2,620 冊（夜間 481 冊） 前年対比 33 冊増（夜間 253 冊増）

その他の実績（団体）7 件 158 冊

（宅配図書）45 件 525 冊

※ 毎週火曜日と木曜日の夜間開放を継続している。

② スポーツ係

社会体育施設に関すること、体育（スポーツ及びレクリエーション含む。）の普及ほか、体育振興

及び指導に関する事務を執行しており、町内の関係団体と連携し、町民水泳大会や小学生対象の水泳教室や陸上教室、野球教室の開催等に関する事務も執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 486 千円に対し、調定額 218 千円、収入済額 210 千円、調定対比 96.3%となっており、歳出は、予算現額 68,216 千円に対し、支出済額 24,254 千円、執行率 35.6%である。

なお、各体育施設等の利用状況の詳細については下記の「各施設利用状況」のとおりとなっているが、今年度も新型コロナウイルス感染予防対策により施設を一時休館とした。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町スポーツ協会補助ほか 7 件 2,320 千円が支出済となっており、9 月末現在ではスポーツ振興補助として中学校 1 校（霧多布）と霧多布高等学校から陸上大会出場に伴って延べ 3 件の申請があり、436 千円を支出している。

●各施設利用状況

社会体育施設等名称		開館・開放日数	利用者総数 (団体・個人含む延べ数)	前年対比
屋 内	浜中町総合体育館	125 日	3,858 人	315 人減
	農業者トレーニングセンター	124 日	2,677 人	1,377 人増
	浜中町民温水プール	92 日	1,695 人	152 人減
	すくらむ 2 1	125 日	622 人	10 人減
	(小 計)	-	8,852 人	900 人増
屋 外	総合グラウンド	102 日	502 人	178 人増
	霧多布スポーツ広場	102 日	90 人	16 人減
	農村運動広場	102 日	46 人	35 人増
	町民パークゴルフ場	111 日	993 人	1,023 人減
	(小 計)	-	1,631 人	826 人減
学 校 開 放 外	霧多布小学校	0 日	0 人	0 人
	霧多布中学校	0 日	0 人	0 人
	西円地域体育館	18 日	197 人	168 人増
	(小 計)	-	197 人	168 人増
合 計		-	10,680 人	242 人増

(3) 霧多布高等学校

管 理 係

霧多布高等学校の教職員に関すること、学校施設（校舎・グラウンド・教員住宅）の管理、高等学校授業料等の収納、物品の調達及び管理、スクールバスの管理運行に関することなどを分掌し、事務を執行している。

生徒のスキルアップに繋がる文章デザイン検定、日本漢字能力検定などを受験する生徒に対し受験費用を 9 月末では延べ 142 名に対して補助を行っている。

なお、9月末日現在の生徒数は下表のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 11,108 千円に対し、調定額 9,839 千円、収入済額 1,884 千円、調定対比 19.2%となっており、歳出は、予算現額 55,542 千円に対し、支出済額 21,151 千円、執行率 38.1%である。繰越明許費の歳入は、繰越額 800 千円に対し、調定額・予算現額 0 千円、調定対比 0%となっており、歳出は繰越額・予算現額 1,628 千円、支出済額 1,627 千円、執行率 99.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、国内視察研修負担金ほか 6 件 3,196 千円が支出済である。

●学校の状況

学年	生徒数	学級数
1 学年	19 名	1
2 学年	26 名	2
3 学年	21 名	1
合 計	66 名	4

(4) 学校給食センター

総務係・業務係

総務係では給食センターの管理運営、職員の衛生管理及び福利厚生、給食センターの衛生管理などの事務を執行し、業務係は、給食物資の調達、給食の献立及び調理、供給配送など給食業務に関することを分掌している。

センターの運営については、調理員 6 名を会計年度任用職員として雇用し、9 月末現在の給食実施状況は、供給日数 102 日で 53,597 食となっている。今年度から学校給食費会計が私会計から公会計に変更になっている為、歳入歳出の予算が増加している。

予算執行状況は、歳入予算現額 7,757 千円に対し、調定額 6,627 千円、収入済額 4,904 千円、調定対比 74.0%となっており、歳出は、予算現額 97,082 千円に対し、支出済額 33,936 千円、執行率 35.0%である。補助金、負担金及び交付金の状況は、学校給食費助成金ほか 2 件 120 千円が支出済である。